

富士電機株式会社（製造業）

＜BtoBの製造業において、女性をはじめ多様な人材がチームワークで力を発揮＞

◆ダイバーシティ経営の背景

- ・ 2000年代後半、団塊世代の一斉退職によるマンパワー不足を回避し、優秀な人材を確保すべく、従来の「日本人男性」という画一的な人材獲得からの脱却が必要であるという認識を社内経営層が共有した。

◆取組内容

- ・ 2006年、社長直轄の組織として「女性活躍推進室」を設置し、社長と責任者との対談を社内報・イントラネットで全社員に対して発信するとともに、社長から全幹部社員に対し、電子メールでメッセージを発信するなど、経営層の本気度を周知する取組を行った。
- ・ 経営方針の一つに「多様な人材の意欲を尊重し、チームで総合力を発揮します」と掲げ、トップダウン型の活動を進めるとともに、多様な属性の社員で構成されるワーキンググループが、社員の生の声を拾い上げ、その課題解決に向けた取組を推進するボトムアップ型の活動を展開している。
- ・ 女性社員のキャリア意識醸成と能力開発、女性幹部社員登用を目的として、幹部候補者向けの能力開発研修や総合職向けのメンター制度を実施している。また、育児休職からの復職者がその上司とお互いの状況・価値観を共有する研修に参加することで、復職後のキャリアプランの形成・協力体制を確立している。
- ・ 外国人、障がいを持つ社員に対するアンケート調査結果を基に、会社との相互理解を推進し、働きやすい職場環境整備に取り組んでいる。

◆成果

- ・ 意識改革・環境整備・能力開発を進めた結果、女性幹部社員・幹部社員候補者が増加するとともに、離職率の高かった女性が結婚・出産後も継続して活躍するようになった。技術系女性社員による女子理工系採用プロジェクトの活動により、理工系女子学生の採用数が拡大している。
- ・ 技術部門では、プロジェクトのトップ及びメンバーに女性を多く配置している職場もあり、多くのステークホルダーとの調整が必要とされる局面で専門技術・知識と丁寧なフォローで多大な貢献をするなど、当人の能力や適性を活かした活躍が実現している。

＜企業概要＞

設立年	1923年	資本金	47,586百万円
本社所在地	東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー		
事業概要	エネルギー、産業、輸送その他社会インフラに関する各種機器・システム、および半導体デバイス、自動販売機の開発、製造、販売、サービスならびにこれらに関するソリューションの提供		
売上高(※)	703,500百万円(連結) (※)直近決算期(2012年3月)		

＜従業員の状態(単体)＞

総従業員数	12,664人(うち非正規1,783人)
属性ごとの人数等	【女性】1,454人(うち非正規374人)、女性管理職比率 非公表 【外国人】88人 【障がい者】92人【65歳以上】135人
正規従業員の平均勤続年数	男性 19.6年 女性 17.2年